

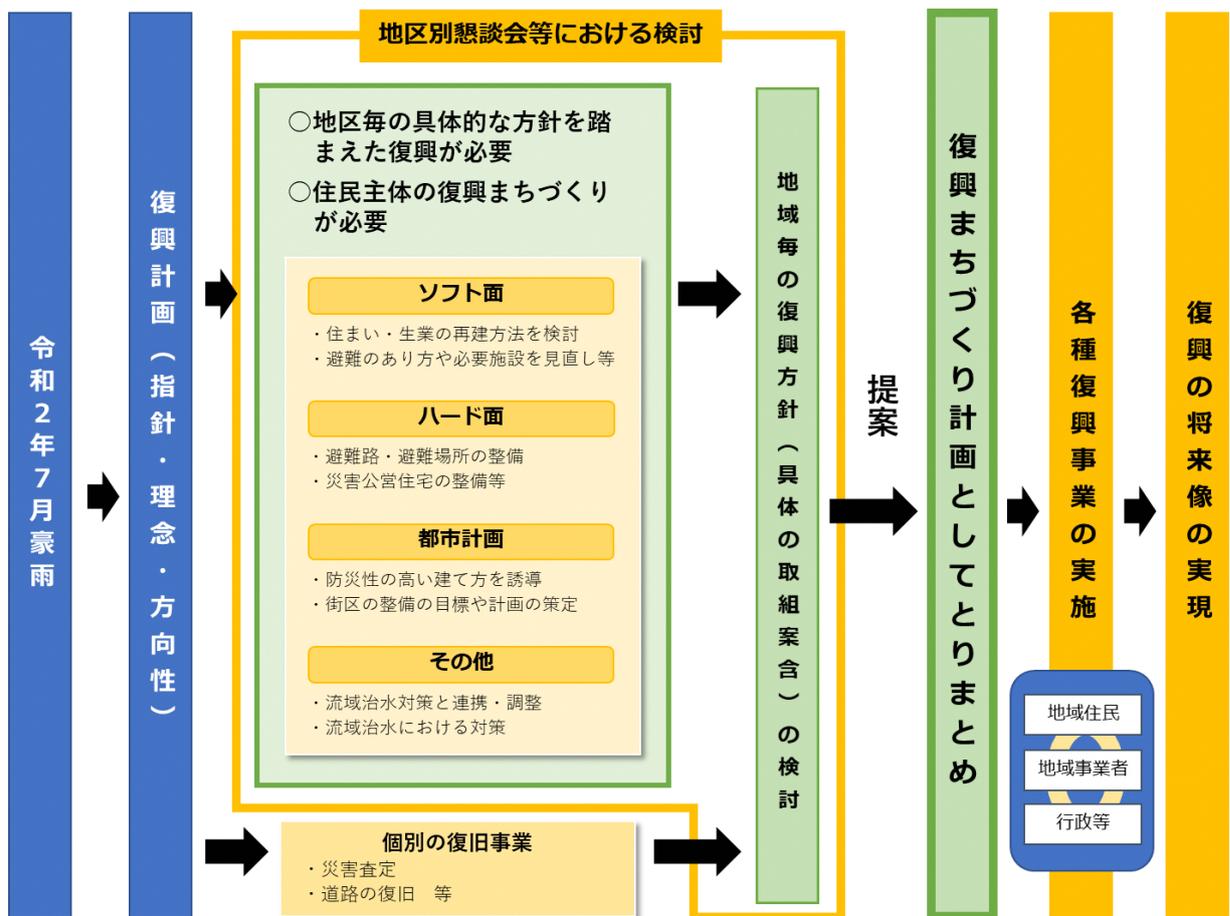
# 第1章 はじめに

## 1 計画策定の趣旨

人吉市においては、令和2年7月豪雨による被災を受け、一日も早い復旧・復興を果たすために、令和2年9月に人吉市復興基本方針（以下「復興基本方針」という。）、令和3年3月に人吉市復興計画（以下「復興計画」という。）を策定し、復興の将来像として「球磨川と共に創る みんなが安心して住み続けられるまち」を掲げ、市民・地域・行政等が一丸となって復旧・復興に向けた取組を進めていくこととしています。

その後、市民が主役となった復興まちづくりを目指し、被害の大きい地区毎に地区別懇談会を開催し、議論を重ねる中で、地区毎の復興まちづくり計画の提案が行われました。

人吉市復興まちづくり計画（以下「復興まちづくり計画」という。）は、地区毎の提案を受け止め、災害に強く、未来への希望につながる復興まちづくり（以下「未来型復興」という。）を推進するために策定するものです。



## ■地区別懇談会の開催状況

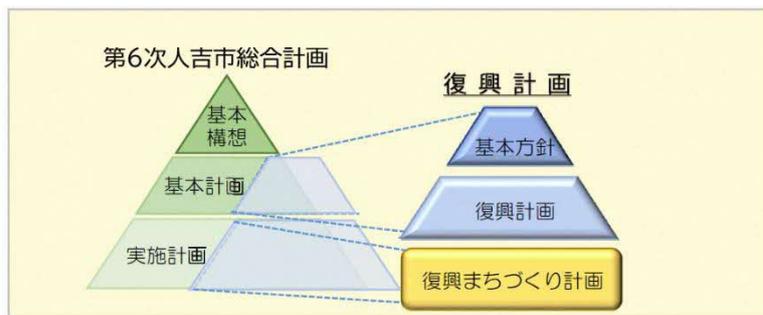
重点地区の復興に向け、以下の日程で地区別懇談会を行った他、九日町紺屋町再生会議や老神若手会との意見交換など多様な主体も含めて検討を重ねました。（括弧内は参加人数）

	中心市街地地区	青井地区	麓・老神地区	球磨川左岸地区	薩摩瀬地区	温泉下林地区	中神地区	大柿地区
第1回	4/17 (43名)	4/17 (18名)	4/17 (6名)	4/15 (7名)	4/15 (17名)	4/18 (24名)	5/13 (46名)	5/12 (49名)
第2回	5/11 (26名)	5/12 (25名)	5/11 (4名)	5/10 (4名)	5/10 (14名)	5/13 (15名)	6/8 (30名)	6/18 (42名)
第3回	6/15 (41名)	6/17 (25名)	6/15 (3名)	6/7 (6名)	6/7 (12名)	6/16 (26名)	7/31 (27名)	7/31 (29名)
第4回	7/19 (47名)	7/20 (18名)	7/26 (7名)	7/28 (9名)	7/28 (15名)	7/8 (20名)	-	-
第5回	7/26 (24名)	7/27 (10名)	9/16 (9名)	9/18 (8名)	9/18 (12名)	7/29 (26名)	-	-
第6回	9/16 (34名)	9/17 (15名)	-	-	-	9/15 (29名)	-	-

## 2 計画の位置づけと計画期間

復興まちづくり計画は、復興計画の実現に向けて取り組むべき内容を整理するもので、取組主体は市民・事業者・行政等多様な主体を想定しています。特に被害の大きい地域については、まちづくりの方向性及び具体的な取組を位置づけ、各主体の連携・協働により取組を推進します。

計画期間は、復興基本方針の計画期間を踏まえ、令和9年度までの約6年間とします。



年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
総合計画	第6次人吉市総合計画前期基本計画				第6次人吉市総合計画後期基本計画			
	復興基本方針				復興基本方針			
復興計画	復興計画（第1期）				復興計画（第1期）			
	復興計画（第1期）				総合計画に一本化			
復興まちづくり計画	復興まちづくり計画							